

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書】

(モデル校名

福岡県前原市立南風小学校)

○ 学校の概要 (平成15年4月現在)

前原市立南風小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	4	3	3	3	0	19	29名
児童数	112	120	130	115	93	103	0	673	

1 本年度当初における本校の「総合的な学習の時間」の課題

平成12年度の開校当初より、本校は、総合的な学習の時間の試行期間を利用し、地域の「もの・ひと・こと」を生かした心を育て、生き方を考える教材の開発に努めてきた。幸いにも、学校を地域のコミュニティーセンターとして位置づけ、学校と地域が連携・融合して教育活動の推進にあたり、学校・地域づくりを進めていこうという地域住民の熱い思いがあり、総合的な学習の時間・道徳の学習を中心に地域と連携した教育活動が推進されてきた。開校から3年目を迎える平成14年度には、学年の系統性を考えた内容が定着し、全学年共通して取り組む領域や、学年ごとにかかわりをもつ地域人材・地域事業、施設等の活用が実践により積み上げられてきた。このような中で本年度当初には、以下のような課題が明らかとなった。

○学校全体のカリキュラム構想につながる総合的な学習の時間のカリキュラム構想が漠然としているため、学年ごとに積み上げられていくべき学び方や考え方への共通理解が図られないままに実践が進められている。○総合的な学習の時間の評価の内容と方法については各学年任せとなり、学校としての方向性が示唆されていない。

2 モデル事業としての研究の経緯と方向性

小学校3校と中学校1校の本モデル推進地域では、4校の校長・総合的な学習担当者・教務主任で構成する「4校推進委員会」を立ち上げ、事業の具体的な推進にあたってきた。またこの会の中に「事務局会」を設け、次回の委員会で検討する内容を事前に検討してきた。

これまで小学校間での総合の内容についての情報交換さえなされておらず、ましてや中学校との連携は初めてということも多く課題が明らかとなった。はじめに、4校が互いの情報を交流することによって、○各校の総合の内容 ○小学校4年間の総合のあゆみ ○各校が抱える総合の課題等についての交流を行い、4校のモデル校としての推進の在り方について協議を進めていった。

本校では推進委員会の中で確認された、「環境」「福祉」の2つの領域の内容を中心に今年度の課題を整理した。実施時期や具体的な内容、人材について検討し、次年度に向けての編成作業に生かしていった。同中学校地域において、共有資源としての地域のもの・ひと・ことが活用できるように、まず、本校分の整理からと考えているところである。総合的な学習を通して身につける「子どもの資質、能力」については全体計画に盛り込み、全職員で共通理解のもと、具体的な評価に関わる面の検討も進めていきたい。

3 平成15年度の取組内容及び成果と課題

成果

- 本事業を受けるにあたり、開校当時から積み重ねてきた実践を整理することができ、本校の総合の課題が明確になった。
- 本校の総合的な学習における4年間のあゆみを整理することができ、全職員が共通理解に立ち担当学年の指導にあたることのできた。また、内容の検討やカリキュラムの編成が、児童のあゆみを踏まえたものになった。
- モデル事業推進委員会で確認されたことを職員に伝えることで、総合的な学習に対する新たな意欲付けになった。

課題

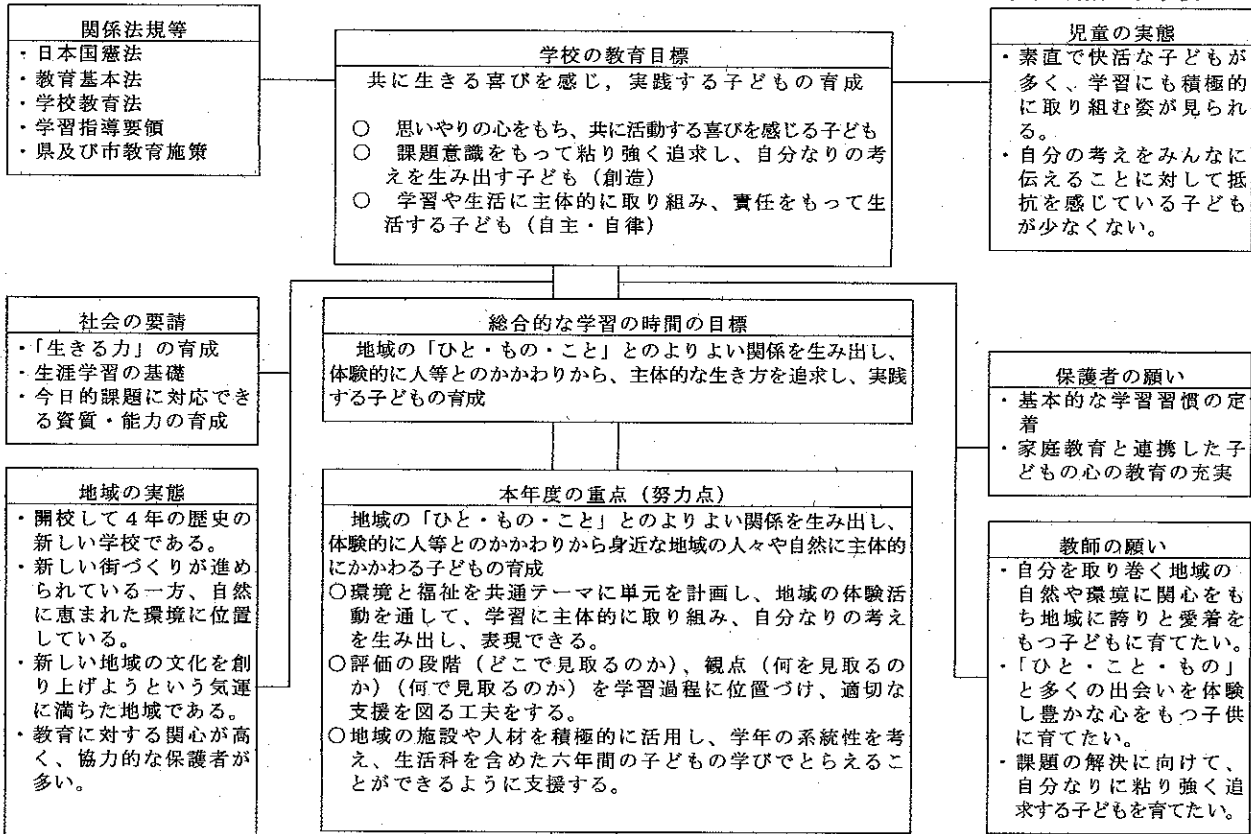
- 小中連携が具体的な活動内容や学習内容で見えてこないために、連携の意識が継続しない。今後は、児童・生徒の姿で伝えられるように密に4校で連携を推進していきたい。

4 今後の予定

現在、本年度のモデル事業中間報告をまとめ、各校が総合の全体計画を作成しているところである。また、共通理解された内容を具体化するためには、4校での共通の取り組みと各学校での独自の取り組みを推進委員会で交流し、事業を推進していきたい。具体的な本校の取り組みとして、モデル事業の発信の具体的な方法や内容についての検討をはじめ、学年間での総合の交流を通して総合でつける資質や能力についての評価をしていきたい。そのために学年から総合的な学習の時間の担当者を出し、学校全体としての総合の推進に努めたい。

平成16年度 総合的な学習の時間の全体計画

前原市立南風小学校



学習テーマごとの目標	
環境	身近な環境や環境問題に関心を持ち、自分たちの生活は環境と深くかかわっていることを捉えると共に、環境を守るための見方や考え方を身につけ、環境を大切にできる態度を育てる。
福祉	人間尊重の精神に立ち、生命を大切にすることや思いやりの心、公共のために尽くす心などの豊かな人間性を育むと共に、お互いの幸せのために支え合い、共に生きる社会の一員としての自覚を培う。
国際理解	外国の暮らしや文化伝統に興味関心を持ち、相手の立場を認め合い、進んで国際交流をしようとする態度を育てる。
情報教育	コンピューターを活用した活動を通して、情報を多様に収集し、分析し、発信する情報処理の基礎基本を身につけさせる。

身に付けさせたい資質・能力（中・高学年のねらい）		
	中学年（3、4学年）	高学年（5、6学年）
問題解決能力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な事象を比較したり、関係づけたりして、課題を見出すことができる。 ○ 課題解決のための見通しをもち、簡単な計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な事象を複数の視点や条件から関連づけながら課題を見出すことができる。 ○ 課題解決のために見通しのある計画を立て、多様な情報を収集し、課題を解決することができる。 ○ 環境・福祉に携わる人々の思いや願いから課題に気づき、課題解決の方法を見つけることができる。
学び方やものの考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりの課題に対して、身近な人や資料をもとにして調べたりまとめたりすることができる。 ○ 視点を決めて、身近な範囲から情報を集めることができる。 ○ 自分たちが調べたりまとめたりしたことを相手や目的に応じた方法で、友達や地域の方など身近な人たちに発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分なりの課題に対して、身近な人や資料だけでなくインターネットや新聞など広い範囲の人やものから情報を集めることができる。 ○ 集めた情報を収集し、分析したり、総合したりして課題解決の考えをまとめることができる。 ○ 学習の見通しをもち、自分たちが調べたりまとめたりしたことを目的や意図に応じた方法で、友達や地域の方など身近な人たちに効果的に発信することができる。
主体的・創造的な態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習対象に興味や関心をもつことができる。 ○ 粘り強く追求したり、繰り返し追求したりすることができる。 ○ 追求の結果得られた成果を自分の生活に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習対象に興味や関心をもつことができる。 ○ 自分のアイデアやこだわりを大切にして、課題追求ができる。 ○ 粘り強く課題を追求し、学習の成果を自分の生活に生かすことができる。
自己の生き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習対象のもつ価値に対して、望ましい見方や考え方ができる。 ○ 自分の学びに達成感や満足感をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習対象のもつ価値に対して、望ましい見方や考え方ができ、望ましい行い方へつなぐことができる。 ○ 自分の学びに達成感や満足感をもつことができる。

環境・福祉における学年の内容			
3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
環境	環境	環境	福祉
<p>○南風校区の様子を調べたり、南風花いっぱい運動ボランティアの方と共にひまわりを育てたりすることを通して、地域の人の街づくりへの願いに共感し、自分たちの街を地域の方と共に作り上げていこうとする。(共生)</p> <p>○4年生の願いをもとに地域に花を植えたり、地域の人にプレゼントしたりするなど自分たちができる「南風花いっぱい運動」を広げていく計画を考え、実行していく。(創造)</p> <p>○4年生からもらったひまわりを種から継続して育てることを通して、植物を育てることの難しさや喜びを感じる。(自主自律)</p>	<p>○自分たちが生活している校区の公民館や公園、道路などの環境を調べたり、環境をよりよくする活動に取り組むことを通して、地域の環境を守ろうとする。(共生)</p> <p>○地域の環境奉仕活動に取り組んでいる方や団体の願いをもとに、クリーン作戦を行う、リサイクル活動に取り組む、ゴミ減量の啓発運動を行う等の活動の計画を自分なりに考え、実行する。(創造)</p> <p>○自分が決めた環境奉仕活動に年間を通して粘り強く取り組み、校区の環境を良くすることの難しさや喜びを感じる。(自主自律)</p>	<p>I</p> <p>○GTの方の無農薬による安全な米作りに興味関心を持ち、GTの方や地域の人、友達と協力しながら米作りをする。(共生)</p> <p>○米作りや米に関することから自分の課題を見つけ、いろいろな人の考えや情報を集め、効果的な方法を選んで学習を進める。(創造)</p> <p>○学習で得たことを自分の生活に進んで役立てることができ、地域の自然、社会、文化の様子やそこに住む人々のよさに気づく。(自主自律)</p> <p>II</p> <p>○多久川、ハマボウ、干潟の生物などの自然に触れ、親しみを感じ、身近な自然を大切に。(共生)</p> <p>○校区文化祭に向けて、地域の人に啓発を促すための報告の仕方を工夫する。(創造)</p> <p>○身近な自然が地域にとってかけがえのないことを実感し、守っていくための活動に主体的に取り組むと共に、協力して地域の人に伝えようとする態度をもつ。(自主自律)</p>	<p>I</p> <p>○校区には単身高齢者を始め高齢者がいることを知り、その思いにふれながら、共に活動していこうとする。(共生)</p> <p>○高齢者の立場に立って、より楽しく参加できる講座を考えようとする。(共生)</p> <p>○高齢者の思いを自分なりの方法で調べまとめたり、高齢者との関わり方について自分なりの思いをもつことができる。(創造)</p> <p>○南風大案の講座参加者が有意義に活動できる講座内容を考える。(創造)</p> <p>II</p> <p>○自分が立てた見通しに沿って、粘り強く活動し、応えを見出す。(自主自律)</p> <p>○公民館や老人クラブの方達と連携しながら、自分たちで企画した講座を責任もって運営する。(自主自律)</p>
福祉	福祉		
<p>○富の里のお年寄りと一緒に昔の遊びをしたり、歌を歌ったり、劇を発表したりするなどの活動を通して、自分なりにお年寄りとふれあう。(共生)</p> <p>○富の里のお年寄りの願いを知ったり、施設の方の考えを伺ったりして、どのような交流を行うことができるか考え、計画を立てたり、実行したりする。(創造)</p> <p>○富の里の交流会に向けて、進んで出し物の練習をしたり、交流会を自分たちの手で進めたりすることを通して、お年寄りとお年寄りとの難しさや役立つ喜びを感じる。(自主自律)</p>	<p>○目や耳の不自由な方やボランティア活動をしてある方とふれあいながら、相手の気持ちを考え共に生活していくためにはどうしたらいいかという気持ちを大切に。(共生)</p> <p>○障害を持たれる方やボランティア活動をしてある方の願いをもとに、自分たちができることを考え実行していく。(創造)</p> <p>○点字や手話などボランティアの方から学んだことを生かしながら活動を行い、社会の人々の役に立つ喜びを感じる。(自主自律)</p>		

【1学期】 花いっぱいの街・南風 (環境)	【1学期】 みんなが気持ちよく生活できる街・南風 めざして① 環境	【1学期】 南風米を私たちの手で① (環境)	【1学期】 心を届けるふれあい弁当① (福祉)
【2学期】 富の里のお年寄りに心を届けよう① (福祉)	【2学期】 みんなが気持ちよく生活できる街・南風 めざして② 環境	【2学期】 南風米を私たちの手で② (環境) 多久川からの発信 (環境)	【2学期】 心を届けるふれあい弁当② (福祉)
【3学期】 富の里のお年寄りに心を届けよう② (福祉)	【3学期】 目や耳の不自由な人と心をつなげよう (福祉)	【3学期】 多久川からの発信 (環境)	【3学期】 心を届けるふれあい弁当③ (福祉) 南風大案の講座を企画しよう (福祉)